

長野県道路公社管理の

みさやま

三才山トンネル有料道路が無料開放となりました (松本トンネル有料道路含む)



三才山トンネル有料道路と松本トンネル有料道路は、令和2年9月1日午前0時に無料開放となりました。



三才山トンネル有料道路



松本トンネル有料道路

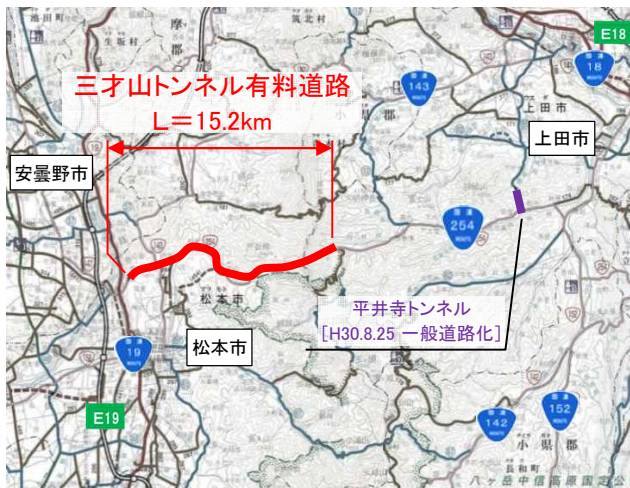
路線概要

東信地域と中信地域とを結ぶ交通の円滑化に向け、有料道路制度により整備した道路です。本道路の開通によって、両地域の交流が促進され、県内産業や文化の発展に寄与したほか、北関東と中京方面を結ぶ広域の物流路線として、重要な役割を果たしてきました。

| | |
|--------|---|
| 路線名 | 一般国道254号 |
| 区間 | 上田市鹿教湯 ~ 松本市島内 |
| 延長 | 15.2 km |
| 料金徴収期間 | 昭和51年(1976年)10月31日~ 令和2年(2020年)8月31日 |
| 総事業費 | 209億2,800万円 |



三才山トンネル貫通時(S50.3)の状況



三才山トンネルの整備は明治以来100年の悲願であり、当時の県政における最重要課題であった。トンネル(延長2,511m)は当時、県内2位、全国8位の長さであった。
(写真「長野県道路公社10年史」(長野県道路公社))



三才山トンネル有料道路
(開通式)



松本トンネル有料道路
(開通式)

三才山トンネル有料道路の一般道路化後の交通量について

道路建設課

1 路線の概要

三才山トンネル有料道路（松本トンネル有料道路含む）は、有料道路制度を活用して建設資金を賄い、東信地域と中信地域を結ぶ幹線道路として、昭和51年10月に開通した（松本トンネル有料道路は平成6年12月に開通）。

本道路の整備によって、県土の一体化に貢献できたことはもとより、県内産業や文化の発展に寄与してきた。

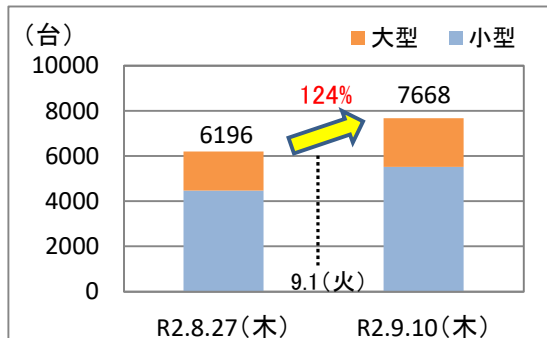
料金徴収期間が満了する令和2年8月31日をもって事業完了し、翌日午前0時に無料開放した。



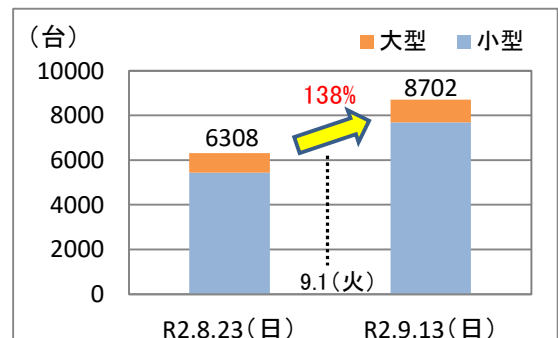
無料開放後の状況
(上田側から見る三才山料金所)

2 無料開放後の交通量

◆三才山区間 無料開放後の交通量は124～138%

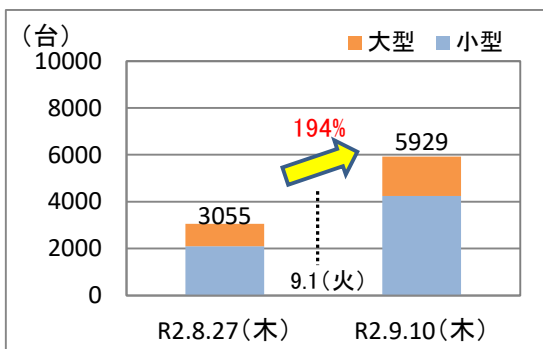


三才山(平日)

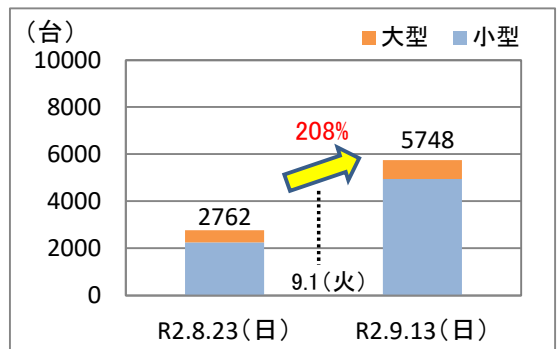


三才山(休日)

◆松本区間 無料開放後の交通量は194～208%(約2倍)



松本(平日)



松本(休日)